

質疑あれこれ

平成29年度一般会計歳入歳出決算

〈総務費〉

Q 財政調整基金を当初予算より多く積み立てた理由は。

A 航空機関連工場建設に伴う償却資産の増分、決算剰余金の編入などにより、6億800万8千円になった。

Q とよやまタウンバス運行負担金が増えた理由は。

A タウンバスの利用者が1857人減少したため。

Q 自治会加入率を増やすために検討していることは。

A 自治体加入率は毎年減少している。加入チラシを更新して地区委員に配布したり、地区委員を対象としたアンケートをもとに、町としてできることを考えていきたい。

〈民生費〉

Q 障害者総合支援法のサービスが前年度に比べ充実しているが、事業所情報パンフレットなどは作成しているか。

A 愛知県の福祉ガイドブックに基づいてサービス事業の説明を実施している。

Q それぞれの保育園に、もっこっぴりの保育士を配置するべきではないか。

A 富士保育園、豊山保育園に2名

ずつフリーの保育士を配置している。

Q 敬老会の記念品はいくつ用意したのか。また、弁当や敬老会のあり方についてどう考えているか。

A 例年70%弱の来場を見込み、1200個用意した。(来場者1029人)

お弁当の配布の有無について、今年度アンケートを実施し、集計中である。

〈衛生費〉

Q 予防接種事業で、接種率の伸びの理由、高齢者肺炎球菌ワクチン接種率の伸び悩みの原因は。

A 予防接種率の伸びについては、妊婦に対する勧奨、周知の徹底によるものである。また、肺炎球菌接種率については、既接種5年経過者の任意接種が含まれていないためと考えられる。

〈消防費〉

Q 防災倉庫内の器具類が、どこに何があるかわからない。置き場をマップ化してはどうか。

A 必要性を感じているので、検討していきたい。

〈教育費〉

Q 児童・保護者を対象とした安全講習会事業では、どのようなことを行ったのか。放課後、あふない遊び

をしている子どもを見かけるが。

A 子ども向け講習会では、子どもの生きる権利として「安心」「自信」「自由」について説明した。交通マナーは安全対策の重点ととらえ、事あるごとに訴えている。多くの目を持ち地域の方の指導もお願いしたい。

平成29年度介護保険特別会計歳入・歳出決算

Q 介護予防把握事業の実績が増えている要因は。

A 介護予防の必要性を把握するためのアンケート実施対象を増やした。そのため、訪問回数、訪問人数、訪問延べ人数が増加した。

平成30年度一般会計補正予算

〈ブロック塀等撤去費補助金〉

Q ブロック塀等撤去の補助金の概要は。

A 補助金の額は上限10万円で、「撤去費」または「撤去するブロック塀1mあたり1万円」のどちらか少ない額の2分の1。

小学校指定の通学路に面しているブロック塀は、3年間の特例として、4分の3、上限15万円を補助する。

〈児童遊園維持工事〉

Q 児童遊園管理事業のブロック塀撤去の概要は。

A 25か所の児童遊園のうち、ブロック塀があるのは、3か所、そのうち今回は劣化の激しい伊勢山児童遊園のブロック塀を撤去する。

〈消防出初式〉

Q 県営名古屋空港での出初式は珍しいと思う。今回の出初式はどれくらいの規模で行われるのか。PRのみの補正か。

A 平成31年西春日井2市1町合同消防出初式は、本町の特徴を生かして空港エプロン内にて開催する。

事前にPRして多くの見学者を募集していく。PR用のポスター、チラシ等の製作費、式典当日の駐車場、会場への誘導などの費用を計上している。

〈自動走行実証実験〉

Q 自動走行実証実験とは。

A 公共交通への活用の可能性を探ることが目的。場所は空港構内道路を予定している。運転手は同乗するが、運転は行わない。